


楽しく、やりがいのある住まいづくり

～住まい手とつくり手をつなぐ～

第2部 シンポジウム

家づくりに必要な知識とは

■プロが教える住まいづくりのツボ■




住まいづくりへの備え

2010年9月12日 萩原 幸雄

第2部 シンポジウム

家づくりに必要な知識とは

■プロが教える住まいづくりのツボ■




住まいづくりへの備え

2010年9月12日 萩原 幸雄

- 家づくりの流れ(はじめに)
- 家を持つということは・・・
- どんな家がいいのか?
- 夢と現実
- よい設計者とは?
- 建築主が考えるべきこと
- 住まいづくりの備え(まとめ)



■ 家づくりの流れ(全体)

建築士(建築士事務所)の仕事-暫定版- 一般社団法人 新・建築士制度普及協会




■ 家を持つということは・・・

- 「住まう」とは「住み続けること」であり
- 「居を構える(定める)」とは「その土地に定着すること」

昔は住み続け定着するとは地域に宣言し、神に許しを願うことでもある。

⇒ それが職(のほり)を立てることである。





■ 家を持つということは・・・

- 「住まう」とは「住み続けること」であり
- 「居を構える(定める)」とは「その土地に定着すること」
- 「職を立てる」とは「神のよりしろ」としての行為であり、諏訪大社の御柱祭にも通じる。

⇒ 「住まう」とは本来、重大な決意が必要なのであり、

⇒ 「居を構える」とは「じっくり構える」ことに他ならない。






■ どんな家がいいのか？

- 今までのあなたのヘアスタイルの変遷は？ ➡ 変わらない人はいない。
- 将来のあなたのヘアスタイルはどうなるか？ ➡ 今後も変わり続ける。

住まいづくりに置き換えると・・・

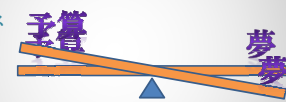
1. 嗜好は変化する。
2. 体も変化する。(成長と老化)
3. 家族構成も変化する。(結婚・出産・学校・就職・離婚・死亡など)
4. 社会環境も変化する。(情報量・地球温暖化・建築基準法改正・税金・技術革新など)

「変化に構える」ことができる家が重要




■ 夢と現実

● 夢と予算のバランス



1. 予算より重い夢！
2. 夢より狭い敷地！
3. 夢の生活空間より多い持物！
4. 家族でも違う夢のバランス！（離婚の可能性も・・・）
5. 夢を壊す現実が存在する！（敷地と近隣の関係・法律・プライバシー・日照・防犯・耐震性・景観・デザイン・性能など）

バランスを調和する能力のある設計者が必要




■ よい設計者（建築士）とは？

● 「居を構える」とは「変化に構える」ことでしたね。

よい設計者とは？ ➡ 「変化の構え」を実現できる能力のある建築士

1. 建築主の家族構成の将来を想定できること。
2. 敷地環境（将来の近隣建物の建設による環境の可変性の対応・プライバシー・日影・通風・防犯・景観など）の配慮ができること。
3. 地球環境（地球温暖化・省エネ・植栽など）の配慮があること。
4. 経済環境（建築資材のコストなど）の対処能力のあること。
5. 建築物の可変性（リフォーム・リノベーションなど）の配慮があること。

過去・現在を洞察し、未来の変化に対応できる設計者であること




■ 建築主が考えるべきこと

● 「変化に構える」ことを整理する

1. 過去の住まい方 ← 記憶の中で感じた経験を整理する。(記憶住まい)
2. 現在の住まい方 ← 夢のスタイルを整理する。(今住まい)
3. 未来の住まい方 ← 予測できる変化を整理する。(未知住まい)

記憶住まい・今住まいから変化に対応した未知住まいの整理



■ 住まいづくりへの備え

● 住まいづくりへの備えはどこで学ぶべきか？

1. 本来ならば小学生くらいからインテリア・エクステリアを含めた建築教育の充実が必要である。何故なら、建築は社会の資産であり、文化であり、環境そのものであるからだ。
2. 住教育の立ち遅れた日本では、建築主は自力でもがき、この非力から建築業界の膨大な情報量に右往左往することになる。
3. この非力を補完し、「変化に構える」に対応できる設計者の協力が必要である。
4. 「変化に構える」将来の資金計画も配慮が必要である。

住まいづくりの備えの原点はよい設計者の選定にある。



■ 住まいづくりへの備え

● 参考図書



いい家づくりのQ&A
共著：建築よろず相談ネットワーク
出版：エクスナレッジ



家づくりの履歴アルバム
著者：おぎわら ゆきお
出版：エクスナレッジ

● 参考HP



HP: 建築よろず相談
1250問答の建築相談が無料掲載閲覧できる。